

議案外質問(6月25日) 青木ともこ議員

これでいいのか、「リニア」計画 技術を過信、安全神話に期待する市長…



6月25日の名古屋市議会で青木ともこ議員がリニア問題で河村市長を追及しました。

市民の暮らしを顧みない市長と対決

市長は議会の冒頭に「わしはリニアと名古屋城でみなさんとケンカしますからね」と「宣戦布告」。青木議員は、「西区はリアルルートに係る地域でリニアを問う運動にずっと取り組んで来ました。私の活動の原点です。住民のみなさんの声をしっかり議会に届けます」と決意も新たに質問に立ちました。

説明責任果たさない不誠実なJR東海

JR東海のリニア計画は、採算性の甘過ぎる見通し、深刻な環境破壊、電力エネルギー浪費に電磁波の危険性、そして沿線住民への説明責任を誠実に果たそうとしない企業姿勢など、問題だらけなのに、名古屋市はリニアに過大な期待をかけ、開通を見すえた駅前大改造計画を打ち出し、市民の税金をつぎ込む構えです。

青木議員はJR東海の説明責任を果たさない実態について追及し、市長は「でかい工事なので、誠実なうえに丁寧に説明してと申し上げた」と答弁。青木議員はこれからもJRにきっちりとししいれるよう、要求しました。

活断層が集中するところは大丈夫なのか

リニアは大きな活断層地帯がある南アルプスを25kmに渡って貫通します。青木議員は「地震や火山災害の警戒が強まる中で、南アルプスの掘削工事に懸念はないのか」と質問。市長は「イノベーションが人類を進める。期待している」と技術への過信を表明。青木議員は安全神話に期待した市長を厳しく批判しました。

住環境の悪化への懸念にどうこたえるのか

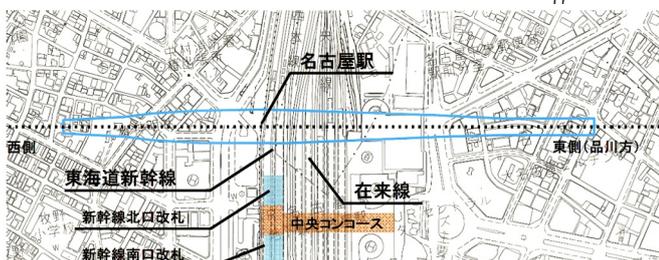
工事に伴う地盤沈下や騒音など住環境の悪化への懸念に対し、青木議員は「市としてJRにどう安全対策などを求めているのか」と追及。局長は「苦情等があれば速やかに状況把握し、必要に応じて指導する」と答えました。青木議員は「苦情にこたえるのは当然。深刻な環境影響やJR東海の企業姿勢など、憂慮すべき問題を抱えたまま、リニアに過大な期待をかけ、関連巨大開発に税金を費やすことが果たして自治体の責任ある判断と言えるのか」と厳しく指摘しました。

いまこそ冷静な判断が必要

市は新幹線鉄道整備法を理由に用地の斡旋の形でJRに協力しようとしています。青木議員は「全国的な幹線鉄道網を形成するものとは言い難く、同法の適用さえ疑問だ」と批判し、「リニア工事は絶対に大丈夫」という大前提で進められる名古屋駅の「まちづくり構想」に冷静な判断が必要と強く申し入れました。

工事工程表(名古屋駅) 駅西側、駅東側 【用地取得を伴う範囲】

場所	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H38	H39
		事業説明会(区単位) ↓ (学区・地区)	用地説明会	工事説明会				
測量、用地関係		中心線測量等	用地測量、用地取得					
地下駅	掘削、支保工							
	コンクリート構造物構築工							
	埋戻工							
	ガイドウェイ設置工							
電気機械設備工								



名城非常口・名城変電施設周辺の工事車両ルート

